

大阪中央労働基準監督署発表
令和 8 年 2 月 5 日

令和 8 年 2 月 5 日

【照会先】

大阪中央労働基準監督署
電話
06-7669-8726

労働基準法違反の疑いで書類送検

（1 か月分の賃金不払いの疑い）

令和 8 年 2 月 5 日、大阪中央労働基準監督署（署長 わたなべ 渡邊 かずみ 和美）は株式会社ウィルほか 1 名を労働基準法違反の疑いで、大阪地方検察庁に書類送検しました。

記

1 被疑者

（1）株式会社ウィル（以下「被疑会社」という。）

本社所在地 大阪市中央区南船場

事業内容 商業

（2）代表取締役 A（以下「被疑者 A」という。）

2 違反条文等

（1）被疑会社について

労働基準法違反

同法第 24 条

同法第 120 条第 1 号（罰則）

同法第 121 条第 1 項（両罰）

（2）被疑者 A について

労働基準法違反

同法第 24 条

同法第 120 条第 1 号（罰則）

3 事件の概要

被疑者 A は労働者 1 名に対し、令和 5 年 12 月分の賃金を所定支払日までに支払わなかったものである。

4 参考事項

適用法条文は別紙のとおり。

適用法条文

労働基準法

第二十四条

- 1 賃金は、通貨で、直接労働者に、その全額を支払わなければならない。ただし、法令若しくは労働協約に別段の定めがある場合又は厚生労働省令で定める賃金について確実な支払の方法で厚生労働省令で定めるものによる場合においては、通貨以外のもので支払い、また、法令に別段の定めがある場合又は当該事業場の労働者の過半数で組織する労働組合があるときはその労働組合、労働者の過半数で組織する労働組合がないときは労働者の過半数を代表する者との書面による協定がある場合においては、賃金の一部を控除して支払うことができる。
- 2 賃金は、毎月一回以上、一定の期日を定めて支払わなければならない。ただし、臨時に支払われる賃金、賞与その他これに準ずるもので厚生労働省令で定める賃金（第八十九条において「臨時の賃金等」という。）については、この限りでない。

第二百十条

次の各号のいずれかに該当する者は、三十万円以下の罰金に処する。

- 一 第十四条、第十五条第一項若しくは第三項、第十八条第七項、第二十二條第一項から第三項まで、第二十三から第二十七条まで、第三十二条の二第二項（第三十二条の三第四項、第三十二条の三第四項、第三十二条の五第三項において準用する場合を含む。）、第三十二条の五第二項、第三十三条第一項ただし書、第三十八の二第三項（第三十八の三第二項において準用する場合を含む。）、第三十九条第七項、第五十七条から第五十九条まで、第六四条、第六八条、第八九条、第九〇条第一項、第九十五条第一項若しくは第二項、第九十六条の二第一項、第百五条（第百条第三項において準用する場合を含む。）又は第百六条から第百九条までの規定に違反した者
- 二～五 （略）

第二百十一条

- 1 この法律の違反行為をした者が、当該事業の労働者に関する事項について、事業主のために行為した代理人、使用人その他の従業者である場合においては、事業主に対しても各本条の罰金刑を科する。ただし、事業主（事業主が法人である場合においてはその代表者、事業主が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者又は成年被後見人である場合においてはその法定代理人（法定代理人が法人であるときは、その代表者）を事業主とする。次項において同じ。）が違反の防止に必要な措置をした場合においては、この限りでない。
- 2 （略）